

平成 30 年度 経営発達支援事業推進協議会（評価・見直し）開催報告

1. 評価機関名 真狩村商工会 経営発達支援事業推進協議会
2. 開催日時 平成 31 年 3 月 26 日（火） 10 時 00 分
3. 開催場所 真狩村交流プラザ 2 階 貸会議室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 真狩村総務企画課 参 事 酒井 秀利
真狩村総務企画課 商工観光係長 北本 靖夫
 - (2) 商 工 会 会 長 島口 勝
経営指導員 西 篤
補 助 員 菊地 一也

5. 内 容

定刻となり、事務局が開会を宣し、島口会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 平成 30 年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みを採用する為、本年度も引き続き本協議会を設置、開催することを説明した。

実施状況は以下のとおり。

①地域経済動向の調査に関すること

取組内容：小規模事業者の個別ヒアリングでは、消費増税に関わる調査しかできず、地域経済動向全般については調査できなかったため、公的統計資料（全国連「景況調査」や村「観光入込客数」、北海道信用金庫「経済動向調査」等）の情報提供を行った。

目標：30 件 実績：10 件

検証結果：平成 31 年度は、小規模事業者が求めているニーズを把握の上、経営力向上や事業承継、販売促進等のためのきめ細やかな情報提供を行う。

②経営状況の分析に関すること

取組内容：ネット de 記帳や巡回・窓口相談を通して小規模事業者の基礎的なデータ収集を行い、経営上の悩みや事業全般について把握するとともに、財務的観点からの経営分析を行い、さらには専門家との連携によるセミナーを開催した。

目標：15 件 実績：15 件

検証結果：SWOT 分析等を活用した小規模事業者の新たなチャレンジへ繋ぐことを意識した経営分析までには至らなかったこと

から、平成 31 年度は専門家と連携した上で経営課題を抽出するとともに、経営力向上が図られる伴走型支援を実施する。

③事業計画策定支援に関すること

取組内容：専門家と連携し創業等セミナーを開催、併せて個別相談会による創業事業計画策定支援を行い、平成 30 年度は 1 件の創業が生まれた。また、平成 31 年度にあっても数件の創業が予定されている。さらに、事業承継や事業の多角化、補助金申請、金融支援に伴う事業計画策定支援を実施した。

目標：5 件 実績：8 件

検証結果：セミナーには想定以上の参加者がいたことから、潜在的な創業や事業計画策定希望者が一定程度いることが分かったことから、平成 31 年度においても専門家と連携の上セミナーや個別相談会を開催し、創業や事業計画策定希望者の掘り起こしを行い、小規模事業者減少の歯止めをかける。

④事業計画策定後の支援に関すること

取組内容：創業や補助金申請希望者の事業計画策定支援とともに、事業の進捗状況の確認や金融支援を行い、フォローアップを実施した。

目標：7 件 実績：2 件

検証結果：創業を予定している者にとって、様々な経営に関する知識習得が成功への道しるべとなることや、自身の経営を客観的な視点で推し測るための事業計画策定は今後の経営の指針ともなることから、今後においてもきめ細やかな伴走型支援を実施する。

⑤新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

取組内容：平成 29 年度の観光需要動向調査により村内の観光や飲食等の情報が不足していることや、興味はあるが認知度が不足しているコンテンツが多数あることが明確になったことから、昨年度に引き続き、小規模事業者の魅力や価値、情報である「周遊マップ」（連動した周遊カード）を開発し、村内の周遊を促すとともに、小規模事業者の売上向上に繋がる支援を行うことができた。

また、全国連が実施している「ニッポンセレクト」に小規模事業者 1 店が、じゃがいもや食用ゆり根を出展、販路開拓と商品 PR に貢献し、売上向上に繋がった。

目標：50件　実績：50件

検証結果：平成31年度は、真狩村の魅力や価値、写真等情報が詰まった周遊マップを開発し、村内の周遊を促す流れを生み出すことができ、一定の成果があったことから、次の展開として村内の魅力発信のための観光情報誌への掲載や、YouTubeによるWEB動画広告とともに、ゲーム性のあるスタンプラリーで村内周遊を促すキャンペーンを実施し、さらには真狩FUNCLUBカード導入による来訪者の囲い込みを図ることで、更なる小規模事業者の売上向上に繋がる支援を行う。

(2) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見等は下記のとおり。

(酒井参事) 村では、いち早く小規模企業振興基本条例や創業支援事業の制定を行い、商工会の経営発達支援事業の後押しをしており、今後においても観光協会等との連携を通して情報共有を図りながら、地域活性化のために一体となって推進してまいりたい旨の意見とともに、限られた時間と職員体制の中で実のある成果を上げてきたことに対し一定の評価をいただいたが、一方で限られた人材の中、小規模事業者が求めているニーズの把握に努め、取捨選択による効果的な支援を行うよう意見があった。

(西指導員) 酒井参事から意見のあった効果的な支援を念頭に、平成31年度も創業支援や小規模事業者への様々な施策を活用し、事業計画策定による明確な経営方針を示し、成功事例を1件でも多く創出してまいりたい旨発言した。

(島口会長) 平成31年度においても、小規模事業者の持続的発展のためにこの経営発達支援計画を着実に実行することが必要であることを強調した。

(事務局) 出席者の貴重なご意見を踏まえ、関係者の皆様のご指導とご支援をいただきながら、平成31年度も事業実施することを申し述べた。

その他、事務局は質疑意見等を求めたが特に発言はなく、標記事業推進協議会を閉じた。

時に11時30分であった。